



Wakate News Letter vol. 27

2010. 10. 7 発行

1. 活動報告

1) 業績

<原著論文> ('10年9月)

Yaguchi S, Yaguchi J, Wei Z, Shiba K, Angerer LM, Inaba K.
ankAT-1 is a novel gene mediating the apical tuft formation in the sea urchin embryo. *Dev Biol.* in press

<学会発表・招待講演> ('10年8月・9月・10月)

Ava Fukuda, Michiyo Takeuchi, Tomoyoshi Nakadai, Miho Shimada, Koji Hisatake

9th EMBL Conference Transcription and Chromatin

演題: Mechanistic analysis of c-fos transcriptional regulation by a novel coactivator hnRNP R

日時: Aug 28-31, 2010

場所: EMBL Heidelberg, Germany,

増本博司

第43回酵母遺伝学フォーラム (染色体関連のセッション)

演題: 出芽酵母における新規ヌクレオソーム形成機構の解明 (口頭発表)

日時: 2010年9月9日(木) ~9月11日(土)

場所: 奈良市ならまちセンター

丹羽隆介

NIAS シンポジウム「ポストゲノム時代の害虫防除研究のあり方」

第3回 -カイコから害虫ゲノムへの展開-

演題: 『昆虫脱皮ホルモン生合成酵素の昆虫制御剤ターゲットとしての可能性』(招待講演)

日時: 2010年9月10日(金)

場所: 秋葉原コンベンションホール

八田佳孝

2010年度日本物理学会秋季大会

演題: AdS/CFTのコライダー物理への応用 (招待講演)

日時: 2010年9月11日(土) ~14日(火)

場所: 九州工業大学戸畑キャンパス (北九州市)

飯泉佳子, **丹羽隆介**, 小澤哲夫, 沼田治

日本動物学会第81回大会

演題: 紅茶由来高分子ポリフェノール MAF による線虫の延命効果』(口頭発表)

日時: 2010年9月23日(木)

場所: 東京大学教養学部 (駒場キャンパス)

丹羽隆介

日本動物学会第81回大会

演題: 前胸腺におけるエクジステロイド生合成の分子メカニズム』(招待講演)

日時: 2010年9月24日(金)

場所: 東京大学教養学部 (駒場キャンパス)

谷口順子, 稲葉一男, 谷口俊介

日本動物学会第81回大会

演題: パフンウニ胚神経形成における zinc finger homeobox の機能解析

日時: 2010年9月23日(木) ~25日(土)

場所: 東京大学教養学部 (駒場キャンパス)

金銀華, 柴小菊, **谷口俊介**, 稲葉一男

日本動物学会第81回大会

演題: ウニ胚頂毛に存在するグルタチオン S-トランスフェラーゼの胚絨毛運動における役割

日時: 2010年9月23日(木) ~25日(土)

場所: 東京大学教養学部 (駒場キャンパス)

加藤秀生, 末光隆志, **谷口俊介**

日本動物学会第81回大会

演題: パフンウニ発生最初期胚のドーパミンによる遊泳制御

日時: 2010年9月23日(木) ~25日(土)

場所: 東京大学教養学部 (駒場キャンパス)

Koji Hisatake, Michiyo Takeuchi, Tomoyoshi Nakadai, Miho Shimada,

Ava Fukuda

ASBMB Special Symposia "Transcriptional Regulation by Chromatin and RNA Polymerase II"

演題: Mechanism of c-fos transcriptional regulation by an RNA-binding protein hnRNP R

日時: Sep 30- Oct 4, 2010

場所: Granlibakken Resort, Tahoe City, USA,

2) 外部資金獲得状況 ('10年9月)

田中健太 (分担者)

<筑波大学生命環境科学研究科・研究科長裁量経費 (平成 22

年度) >

「永久試験地間の有機的遊歩道整備と事故防止」

56 万円

3) 若手運営調整委員会よりお知らせ

○ 若手運営調整委員会新運営体制について

平成22年10月1日より若手運営調整委員会が下記の新体制になりました。

委員長： 丹羽隆介

副委員長： 高崎真美

書記： 杉山智康

○ 【若手分子医学クラスシリーズ (秋期シリーズ)

▽ 分子・細胞医学クラス (担当：高崎真美、長谷川潤)

第1回 9/11

- ・Dendritic function of Tau mediates amyloid- β toxicity in Alzheimer's disease mouse models (Cell)
- ・GPR120 is an omega-3 fatty acid receptor mediating potent anti-inflammatory and insulin-sensitizing effects (Cell)
- ・PNPASE regulates RNA import into mitochondria (Cell)

第2回 9/18

- ・Unexpected requirement for ELMO1 in clearance of apoptotic germ cells in vivo (Nature)
- ・Regulation of myeloid leukaemia by the cell-fate determinant Musashi (Nature)
- ・Gamma-secretase activating protein is a therapeutic target for Alzheimer's disease (Nature)

第3回 9/25

- ・Notch and EGFR pathway interaction regulates neural stem cell number and self-renewal (Nature)
- ・Bacterial charity work leads to population-wide resistance (Nature)
- ・Parasympathetic innervations maintains epithelial progenitor cells during salivary organogenesis (Science)

▽ がんの生物学クラス (担当：鈴木裕之)

内容：Molecular Pathology を学習する。

9/11

- ・Molecular Mechanism of Cell Death (Chapter 1)

9/25

- ・Infection and Host Response (Chapter 3)

2. スケジュール ('10年10月)

7日(木) 11:00~12:00

振興調整費合同会議 総合研究棟D-311

9日(土)~11日(月)

第36回筑波大学学園祭(雙峰祭)

16日(土)・17日(日)

全学停電

3. 事務連絡

○ 文部科学省板倉基盤政策課長(科学技術・学術政策局)来学

文部科学省板倉基盤政策課長が筑波大学に来訪され、研究室の視察や懇談会を行なった。

来訪者：板倉基盤政策課長、猪股企画官 他

日時：平成22年9月30日(木) 13:00~15:30

視察場所：筑波大学本部棟、総合研究棟D棟(奥脳研究室)、自然科学系棟D(八田研究室)、生物農林学系棟D(丹羽研究室)

○ H23年度科研関係スケジュール (*は若手支援室締切り)

<生命環境科学研究科(生物・応生)>

日本学術振興会 研究成果公開促進費(学振)

「学術図書」・「データベース(研究成果データベース)

*10月22日(金) 若手支援室締切り

10月25日(月) 支援室(研究支援) 点検・照査用締切

11月1日(月) 支援室(研究支援) 最終締切

日本学術振興会 特別推進研究(新規)(継続)、基盤研究(S・A・B・C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(A・B) 文部科学省 特定領域研究、新学術領域研究(研究領域提案型)

*10月12日(火) 午前9時 若手支援室締切 点検・照査用

10月12日(火) 支援室(研究支援) 締切 点検・照査用
(↑科研アドバイザーによる点検希望者締切)

*10月18日(月) 午前9時 若手支援室締切 点検・照査用

10月18日(月) 支援室(研究支援) 点検・照査用

*10月28日(木) 正午 若手支援室最終締切

10月29日(金) 支援室(研究支援) 最終締切

<人間総合科学研究科(医学)>

10月15日(金) 17時(厳守) 医学系支援室点検・照査用締切

最終締切は、点検・照査後、教員に通知

Wakate News Letter vol.27 [平成22年10月号]

編集・発行：若手研究者運営調整委員会

*当ニュース・レターは、毎月1回定例会後に配信いたします。

連絡先：若手支援室

担当 根本 nemoto.yoko.fb@un.tsukuba.ac.jp